

自己評価表

(様式1)

愛媛県立大洲高等学校  
学校番号(30)

<p>教育方針</p>	<p>国家社会の有為な形成者としての資質を養うために知性を高め、心身ともに健康で豊かな人間性と創造力を備えた人間を育成する。 生徒の興味・関心・能力に応じた進路実現を目指し、社会の変化に主体的に対応し、社会貢献できる人材を育成する。</p>	<p>スクール ミッション</p>	<p>大洲市にある普通科と商業科の併設校として、知性を高め、豊かな人間性と創造力を兼ね備えた人間形成を目指す教育を推進します。また、仲間と切磋琢磨できる環境を通して、社会の変化に主体的に対応し、地域のリーダーとして地域に貢献できる人材を育成します。</p>
-------------	--	-----------------------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
教育目標	適切な目標設定	本校の実情や生徒の実態に合った教育目標を設定するとともに、全教職員の共通理解を図る。 教職員の共通理解度 A : 90%以上 B : 89~80% C : 79~70% D : 69~60% E : 60%未満			
	積極的な目標の周知	ホームページやPTA総会などを通じて、生徒、保護者、地域に対して、教育目標の周知を図る。 教育目標の周知 A : 90%以上 B : 89~80% C : 79~70% D : 69~60% E : 60%未満			
保護者、地域との連携	連携の深化と積極的な情報提供	生徒の学校生活がさらに充実したものになるよう、保護者、地域との連携を深め、ホームページやPTA月報で情報発信をしていく。 ホームページ更新回数(1週間平均) A : 5回以上 B : 4回以上 C : 3回以上 D : 2回以上 E : 1回			
学習指導	授業力改善の推進	各種研修等を通して、教科の専門的な知識・技量を高め合うとともに、ICT機器の活用について研究と実践を深め、各自の授業力を向上させる。  内容の精選、工夫に務め、生徒が主体的・対話的で深い学びを実践できるように、生徒の理解度が高まる授業を実践する。 生徒の授業に対する満足度 A : 90%以上 B : 89~80% C : 79~70% D : 69~60% E : 60%未満			
	ホームルーム活動・総合的な探究の時間(良知)の充実	ホームルーム活動・総合的な探究の時間(良知)の内容を精選し、生徒が主体的・対話的で深い学びを実践できるよう、外部機関との連携を図るなど創意工夫する。			

進路指導	進路指導の充実	多様化する入試制度を整理・分析し、生徒との面談に活用できるような進路情報を提供する。生徒・保護者対象の進路講演会を適切な時期に実施し、最新情報を発信するとともに保護者との連携を図る。			
		公開講座やオープンキャンパス等の情報を提供して、大学や学問研究に対する早期の意識付けを行う。 生徒に対する適切な情報提供 A : 90%以上 B : 89~80% C : 79~70% D : 69~60% E : 60%未満			
		国公立大学合格者80名以上を目指す。 A : 80名以上 B : 79~70名 C : 69~60名 D : 59~50名 E : 50名未満 難関国立大学合格者数10名以上を目指す。 A : 10名以上 B : 9~6名 C : 5~3名 D : 2~1名 E : 0名 就職内定率100%を目指す。 A : 100% B : 99~95% C : 94~90% D : 89~85% E : 85%未満			
		家庭学習時間は1・2年生3時間以上、3年生4時間以上を目標に、計画的に学習に取り組ませる。 A : 3時間以上(4時間以上) B : 2.9~2.5時間(3.9~3.5時間) C : 2.4~2.0時間(3.4~3.0時間) D : 1.9~1.5時間(2.9~2.5時間) E : 1.5時間未満(2.5時間未満)			
生徒指導	生徒指導の充実	教職員の共通理解を図り、連携して指導にあたるとともに、基本的な生活習慣の確立を図り、特別指導0件を目指す。 A : 0件 B : 1件 C : 2件 D : 3件 E : 4件以上			
	交通安全指導の充実	安全意識の高揚に努め、交通事故0を目指す。自転車通学生のヘルメット着用率100%を目指す。 A : 100% B : 99~98% C : 97~96% D : 95~94% E : 94%未満			
教育相談	教育相談の充実	ホームルーム担任、学年主任、養護教諭、スクールライフアドバイザーなどによる校内体制を充実させるとともに、保護者や外部の関係機関と連携し、学校不適応の傾向にある生徒の早期発見・早期対応に努める。 相談体制に対する生徒・保護者の満足度 A : 70%以上 B : 69~60% C : 59~50% D : 49~40% E : 40%未満			
	特別支援教育の充実	特別な支援を必要とする生徒について、校内関係者で情報共有を図り、保護者及び外部関係機関と連携しながら、個々の生徒に対するより適切な支援に努める。また、校内研修により、特別支援教育についての教職員の理解と対応力の向上を図る。			

特別活動	部活動の充実	ハラスメントを許さない雰囲気をつくるとともに、各部で休養日を設定するなど、安全かつ健全な活動に努める。 部活動加入率 A : 95%以上 B : 94~93% C : 92~91% D : 90% E : 90%未満			
	学校行事の充実	生徒、教職員が協力して取り組み、活力ある学校行事にする。地域を元気づける藤樹祭にする。 学校行事（藤樹祭、クラスマッチなど）の充実度 A : 80%以上 B : 79~70% C : 69~60% D : 59~50% E : 50%未満			
安全教育	防災、安全意識の向上	防災、安全意識の向上を図るとともに、緊急時の対応及び避難方法を全員に周知徹底する。 緊急時対応に対する生徒の理解度 A : 90%以上 B : 89~80% C : 79~75% D : 74~70% E : 70%未満			
	安全点検の徹底	毎月の安全点検を行い、修理・修繕等事故防止のための安全管理を徹底する。			
健康管理	健康教育の充実	生徒の健康状態を把握し、事後措置を迅速に行う。感染症対策について啓発活動を行い、生徒自身の健康に関する自己管理能力の向上を図る。生徒保健委員会活動をより充実させ、健康教育の啓発に努める。			
図書・研修	朝の読書の充実	学校全体で朝の読書に取り組み、豊かな感性と情操を養うとともに、基礎学力を育てる一助とする。			
	図書館利用の活性化	図書館が所蔵している図書の情報を積極的に発信する。学年、ホームルーム、教科と連携を図りながら、図書館の利用を促進し、年間貸出冊数一人当たり5冊以上を目指す。 A : 5冊以上 B : 4.9~4.0冊 C : 3.9~3.0冊 D : 2.9~2.0冊 E : 2.0冊未満			
	現職研修の充実	相互授業参観や研究授業の活発化を図り、校内研修を充実させる。校外研修の情報を的確に伝え、積極的な参加を促す。 校内研究授業の年間実施回数 A : 12回以上 B : 11回 C : 10回 D : 9回 E : 9回未満			
	積極的な授業公開	P T A総会、ホームページ等で公開授業の実施を周知し、参観者の増加を図る。			

人権・同和教育	いじめ対策の充実	いじめの防止・いじめの早期発見を心掛け、いじめや差別のない明るい学校づくりを目指す。「学校生活アンケート」の結果を学年団で共有し、面談に生かすなど、実態の把握といじめの防止に努める。			
	人権・同和教育の充実	生徒たちが同和教育問題をはじめとする様々な人権問題を自分のこととして真剣に考えることのできる人権・同和教育ホームルーム活動を目指し、教職員研修を充実させる。 人権だよりの作成や公開授業・人権集会等への案内、学校ホームページの活用を通して、保護者・地域との連携を強化する。 人権・同和教育に対する理解度（3年） A：100～95% B：94～90% C：89～85% D：84～80% E：80%未満			
商業教育	資格取得の充実	3年間で全商検定試験1級3種目以上の取得率80%以上を目指す。 A：80%以上 B：79～70% C：69～60% D：59～50% E：50%未満			
教育環境	教育環境の充実	美化委員会を中心に家庭クラブ等と連携し、清掃活動を充実させて、校内の美化に努める。			
組織運営	校内組織の充実	教職員間の意思疎通を深め、連携・協力体制を確立する。			
業務改善	業務時間の適正化	各種会議の運営を工夫するとともに、校務支援システムの活用を推進し、業務の効率化と時間の有効活用を図る。 各種会議の適切な運営に対する満足度 A：90%以上 B：89～80% C：79～70% D：69～60% E：60%未満			
	職場環境の整備	「月例アンケート」を実施し、職員の健康、衛生、安全面での課題について実態を把握し、改善が必要な場合は速やかに対応する。 職場環境の課題改善に対する満足度 A：90%以上 B：89～80% C：79～70% D：69～60% E：60%未満			

(A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった)